

Network newsletter

2012.6
No.18

目次

■三菱重工名誘	家庭菜園「明るい農縁」だより	… p 5
CSR『コラボラ2012』が始動しました！	助成金情報	… p 5
■平成24年度通常総会開催	八雲町モニターツアー報告	… p 6
平成24年度委員会紹介	… p 6	… p 6
■市民四季の森「バラ・アジサイまつり」	インフォメーション：新会員紹介	… p 6

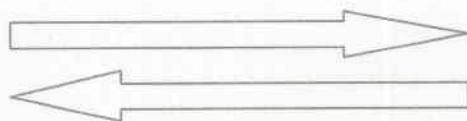
三菱重工名誘 CSR「コラボラ2012」が始動しました！

三菱重工業株式会社名古屋誘導推進システム製作所(以下「名誘」)が、小牧市を拠点に活動する市民団体とのコラボレーションにより生まれる“チャンスや可能性”に着目し、『コラボラ2012』をスタートしました。これは、新たな社会貢献活動を目指す同社と、こまき市民活動ネットワークとの協働により実現したプログラムです。

◆市民活動団体にとってのメリット

- ①<人的支援>社員(とその家族)の参加による労力の提供
- ②<金銭支援>参加した社員(とその家族)の回数に応じて加算された「ボランティアポイント」を、各団体へ寄付金として還元。加えて、活動内容の優秀な団体には助成金「コラボラ2012アワード」の交付

名誘社員
(とその家族)



市民活動団体

<参加条件>

- ・こまき市民活動ネットワークの会員で、「コラボラ2012」の認定を受けた団体。
- ・三菱重工のCSR指針に沿った活動を展開する団体
 - ①地球との絆(環境保全)
 - ②社会との絆(地域貢献・社会福祉)
 - ③次世代への架け橋(次世代育成)

◆社員(とその家族)にとってのメリット

- ①社会貢献活動への参加。
- ②会社以外でのコミュニケーションの場が広がる。
- ③社員の将来(定年後など)のチャンス拡大に目を向けるきっかけ作り。



詳細や新着情報は、こまき市民活動ネットワークのHPにて随時公開していきますのでご覧ください。<http://www.npo-komaki.net/97/>

*「コラボラ」とは、コラボレーションとボランティアを融合させた造語です。



『平成24年通常総会』開催

5月12日（土）午後1時から、味岡市民センター講堂で「平成24年通常総会」を開催しました。

松田敏弘代表理事の挨拶に続いて、来賓の山下史守朗市長より祝辞を賜り、その後、平成23年度の事業報告および決算報告、さらに平成24年度の事業計画と事業予算が審議され、それぞれ異議なく可決されました
出席者55名 委任状66通。

その後、中部大学総合工学研究所教授 武田邦彦氏を迎えて「エネルギーの利用、ざくばらん～エコ生



▲秦野副代表理事が議長を務め審議が行われた総会。

活タンタン（淡々）で節度ある社会を～」と題した基調講演があり、続いて懇親会に移り、会員同士の親睦を図りました。



▲テレビでもおなじみの武田邦彦教授。日本のエネルギー問題について、ユーモアを交えてわかりやすく話してくださいました。



▲青山弘光前代表理事による乾杯の音頭で懇親会スタート



▲懇親会では、新しく理事に就任された方々の挨拶や、参加者のみなさんの活動PRタイムなど、軽食を摂りながら和やかに進められました。

こまき市民活動ネットワークを支える6つの委員会

今年度の活動に向けて委員長さんより、メッセージをいただきました！



協働推進委員会

委員長 秦野利基

小牧市（行政）や小牧市内の企業と協働事業にチャレンジしてみませんか？当委員会では、市民活動団体が市や企業と協働する際のコツやポイントについて学ぶ講座の開催を担当します。委員会は月1回。委員会メンバー大募集中です。一緒に協働について勉強しましょう！

◆委員長さんはこんな人♪

出身地（小牧市小牧原新田） 血液型（O型）
趣味・特技（う~ん、何だろう？）
好きな食べ物（う~ん？納豆以外かな）

ふれあい委員会

委員長 室井勝吉

小牧市と友好を結ぶ北海道八雲町のPRと交流を目的に、毎年2月に八雲町から直送のホタテや同町の物産を販売しています。また、会員同士がよりふれあえる企画も考えています。

興味のある方、気軽に声をかけてください。

◆委員長さんはこんな人♪

出身地（小牧駅前商店街） 血液型（AO型）
趣味・特技（スポーツ観戦・酒類摂取・一人旅）
好きな食べ物（お寿司、アイスの実）

交流委員会

委員長 西尾貞臣

市民、市民団体・NPO団体が、それぞれの思いや活動を、お互いに知り理解し、連携・協働へつながる、繋ぎの役割が交流委員会。今年度は、特に、子ども達に、ボランティア経験を通して社会性を身に付けてもらうことを目的に、「次世代啓発モデル事業」（市より受託）の企画・運営を行っています。

◆委員長さんはこんな人♪

出身地（小牧市大草在住） 血液型（B型）
趣味・特技（草刈り、読書、囲碁、ドライブ、惰眠）
好きな食べ物（カレー）

未来創造委員会

委員長 加藤鐘三

こまき市民活動ネットワークが設立され、5年が過ぎました。その間多くの人の協力を得ながら様々な活動をして参りました。そこで私たちの委員会では、将来に向けて様々な角度から、私たちの果たす役割を検証し、今後の方向性を見出し「ネットワーク未来ビジョン2020」を作成します。

◆委員長さんはこんな人♪

出身地（丹羽郡大口町） 血液型（A型）
趣味・特技（ゴルフ）
好きな食べ物（ラーメン）

明るい農縁委員会

委員長 堀田慶司

趣味の農園活動を通して会員同士の交流を図り、市民活動にも関心を持って頂き、明るいコミュニティづくりを目指しています。現在多くの方々の賛同を得て、池之内赤堀地区農園は満杯状態ですが、他の耕作放棄地活用による市民農園の輪・絆を広げようと企画をしています。

◆委員長さんはこんな人♪

出身地（ピーチライナー跡地） 血液型（冷血型）
特技（野菜作り経験が全くない農園委員長）
好きな食べ物（減量中）

総務委員会

委員長 伊藤大悟

この度、副代表理事に選任いただきました（社）小牧青年会議所第41代理事長を務めております伊藤大悟と申します。総務委員会では組織の運営に関する規則やルールを整備するほか、中間支援組織の在り方を考えながら、次年度の事業について協議を図るなどの活動をしています。

◆委員長さんはこんな人♪

出身地（小牧市小牧） 血液型（O型）
趣味・特技（ゴルフ）
好きな食べ物（つなぎ）

報告

市民四季の森

「バラ・アジサイまつり」



今年も市民四季の森「バラ・アジサイまつり」(6月2日～17日)のオープニングに(2日・3日)、当ネットワーク会員の市民団体が体験ブースを出店し、イベントを盛り上げました。



▲くつろぎ広場に設けられた「こまきコミュニティひろば」。市民活動団体がそれぞれの持ち味を生かした体験＆遊びで、来場者を迎えるました。



▲あいち防災キャラクター
防災ナマズンも登場！



◀特殊加工段ボールで
できた非常用テント
「オクタゴン」が設営
され、外壁に、思い
思いに絵を描く子も
達。テントの中では、
防災啓発ビデオが上
映されました。



■こまきコミュニティひろば&パフォーマンスひろばに参加された団体のみなさん
愛林会、児里の家、野遊び塾リトル・トリー、生涯学習ボランティア・こまき、コープあいち小牧ネットの会、フリーマーケットサークル・ガレージアヒル、小牧災害ボランティアネットの会、小牧防災リーダー会、婦人消防クラブ合同、ドラムサークル「ToMoDo」、しろくまと歌のお姉さん

◀パフォーマンスひろばでは、歌や演奏のほか、
ドラムサークルも披露され、多くの親子連れがア
フリカの太鼓ジャンベ演奏に興じました。

家庭菜園

「明るい農縁」だより その4



▲H24年度の総会後に、「おいしい野菜をつくるぞー！」と気合を入れての集合写真。（赤堀地区内「明るい農縁」にて5月2日撮影）

春野菜のタマネギやニンニクの収穫が終わり、夏野菜の収穫がはじまりました。これからは時期は雑草もよく生え、暑さも厳しくなります。身体に気をつけて、おいしい野菜を作りましょう！

by 農縁アドバイサー
橋本 保



▲「じやがいもの芽かきはこつやるんだよ」と橋本アドバイサーから指導を受けた会員さん。

（5月2日撮影）

◀ 収穫時期を迎えたナス。所々に植えられたマリーゴールドはコンパニオンプランツ（共栄植物）といって、植物同士の生長を助けたり、害虫を寄せ付けなくする働きがあります。（6月20日撮影）

…助・成・金・情・報…

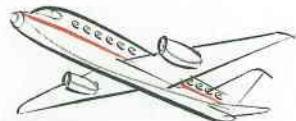
2012年度 ドコモ市民活動団体への助成（環境分野）事業

- 助成団体 NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
- 助成対象 「環境を守る」をテーマにこれから地球や地域の環境のためになる活動
- 助成金額 総額2,500万円（上限）予定。1団体あたり100万円を標準とし、最高200万円。
- 助成対象期間 2013年2月1日～2014年1月31日に実施
- 助成対象団体 日本国に活動拠点を有する民間の非営利活動団体で、NPO法人などの法人格を有するもの、または申請中の団体で8月末までに法人登記が完了見込みの団体。複数のNPOが連携した協働事業で、地域の中間支援組織が代表申請団体となる場合は、その協働グループ。
- 応募期間 2012年7月31日（火）まで
- 申込方法など詳しくは、
<http://www.mcfund.or.jp/>

東海3つさん

「事業型NPO育成支援講座」受講生募集

- 講座⇒助成（総額1,000万円：1年目100万円、2年目70万円、3年目50万円※上限）⇒個別コンサルティングという仕組みで、段階的に事業型NPOの成長を支援します。
- 日時 平成24年7月7(土)、14日(土)、21日(土)
- 定員 50名
- 対象者 事業型NPOの企業を目指す個人すでに活動しているNPOであり、事業化を目指す団体
- 受講料 全3日の料金：6千円、各日単独参加料金：2,000円
- 会場 東海労働金庫本店7階大会議室（名古屋市中区新栄1-7-12）
- 申込締切 7月2日（月）必着（先着順）
- 申込・問合せ先 特定非営利活動法人
市民フォーラム21・NPOセンター（担当：若山）
TEL:052-919-0200
FAX:052-919-0220
E-mail: office1@sf21npocenter.jp



八雲の《見る・食べる・体験する》モニターリア報告

5月13日～15日の3日間、八雲町交流体験観光事業を実施しました。八雲町の観光事業推進のため、当委員会が提案・募集をし、八雲町と八雲物産協会が受け入れの企画をし、実現しました。

旅程は、1日目に中部国際空港から函館経由で八雲町に向かい「八雲町郷土資料館」を見学。

「おぼこ荘」で宿泊し「小牧市と交流する八雲町民の会」と炉端焼きで懇親会。2日目は「八雲町活性化施設」でバター作りと「八雲神社・八雲産業　八雲事業所」「八雲町育成牧場」見学に続き、



宿泊先「おぼこ荘」前で記念写真



ホタテの稚貝の耳に開けられた小さな穴に、紐通して吊るす「耳吊り作業」を体験中！

「噴火湾パノラマ周辺」を散策。「ホタテ耳吊り作業見学と体験」「ホタテ三昧の昼食」と多くの体験と美味しい昼食を堪能後、大沼公園や五稜郭周辺も散策し宿泊先到着後各自自由行動。3日目は、午前中函館で自由行動。午後は函館空港より中部国際空港へ。参加者からはバター作りは未完成で大変だったが、ホタテの耳吊り体験は良かったとの意見。今後、これらの意見を参考に交流体験事業を検討します。

ふれあい委員会副委員長　鳥居由香里

information information

《新会員紹介》（敬称略）※H24年4月以降にご入会

◆個人 正会員（5名）

小林英生 大野典子 伊藤雅行
井戸田房子 千味忠利

◆市民活動団体（4団体）

小牧通訳ボランティア会
NPO法人桜花フリースクール
NPO法人カーボンダイエットジャパン
特定非営利活動法人ライフライクセンター

◆企業 賛助会員（2社）

三菱重工業株式会社名古屋誘導推進システム製作所
株式会社丸協小牧支店

訃報

西川君枝さんご逝去

当ネットワークの設立準備委員会よりご参加いただきました、理事の西川君枝さんが6月21日、ご病気のためご逝去されました。謹んで皆様にご報告するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

